



### 最優秀賞

大野小学校 4年 昌子 大海

(講評)

蛇口から勢いよく流れ出る水道水を両手で受ける様子を俯瞰した構図で描いている。安心して安全な水道水であるからこそ、手を差し出し、触れることができると感じさせる作品である。



### 優秀賞

法吉小学校 6年 藤本 成海

(講評)

水の街、城下町の松江が水の豊かさを象徴するイメージとして描かれている。中心に配したコップに1, 2滴の水が落ちて、美しい波紋をつくっており、水道水の清潔感を思わせる。他に誇ることのできる松江市の上水道というとらえ方もできる作品である。



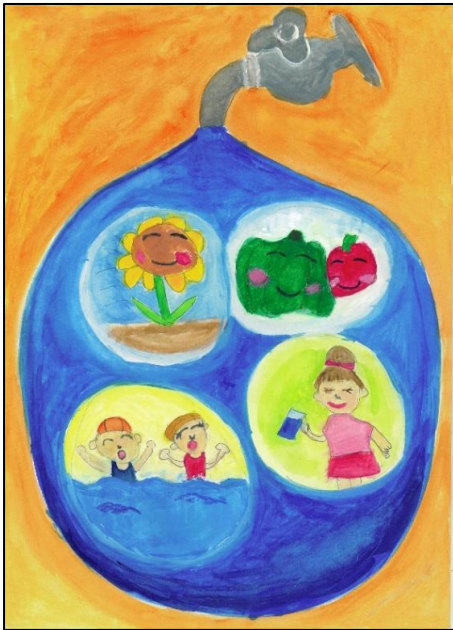
### 優秀賞

乃木小学校 2年 土井 陽菜乃

(講評)

自分自身と水道水の関わりについて、素直に描かれた作品である。手を洗う心地よさと水道水の働きがしずくのキャラクターで可愛く描かれている。

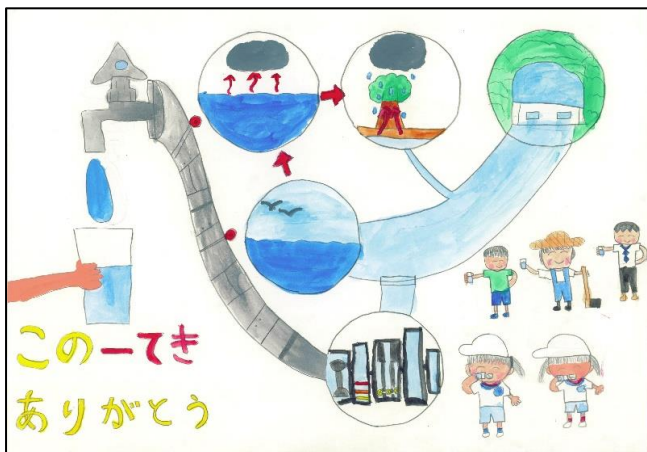
< 入 選 >



法吉小学校 1年 岩崎 萌々花

(講評)

蛇口から出ている大きな水玉の中に、素朴に素直に水道水を喜ぶ様子が描かれている。花も野菜も自分も友達も家族もみんな笑顔でうれしそうである。1年生らしいとらえ方をしながら、最後まで丁寧に描いている作品である。



法吉小学校 4年 牧野 七菜子

(講評)

水道水の一滴が自然との関わりや取水・ろ過などの仕組みを通して生み出されていることが分かる。学習の中で学んだことのひとつが上水道の理解につながり、子どもにより身近なものとして意識させるものとなっている。



雑賀小学校 6年 和田 晴真

(講評)

学校の日常風景の中にある水道水の利用場面として描かれている。当番なのでしょうか、水道水をバケツにため入れるという日々の活動が印象強く思われる。